

葛飾区地域公共交通計画策定業務

区民アンケート調査及びバス利用者アンケート調査 速報集計（概要版）

区民アンケート

- 区民3,000人無作為抽出で調査を実施し、約3割の887票の回収を得ました。
- 1月8日時点の回収票：730票（回収率24.4%）を速報値として、集計を実施しました。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 調査対象者 | 区内在住の16～85歳:3,000人 |
| 調査方法 | 郵送配布、郵送及びWEB回収 |
| 調査時期 | 令和6年12月19日(木)～ 令和7年1月6日(月) |

| | |
|-----|---------------|
| 配布数 | 3,000枚 |
| 回収数 | 887票 ※1/15時点 |
| 回収率 | 29.6% ※1/15時点 |

バス利用者アンケート

- 区内を運行するバス路線の利用者2,000人を対象に調査を実施し、約2割の428票の回収を得ました。
- 1月8日時点の回収票：408票（回収率20.4%）を速報値として、集計を実施しました。

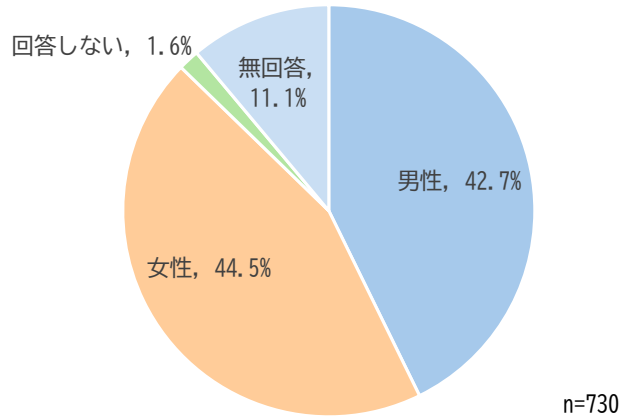
| | |
|-------|---|
| 調査対象者 | 区内の路線バス利用者 2,000人 |
| 調査方法 | 区内及び区内発着のバス路線が運行する鉄道駅前のバス乗り場で調査員が直接配布 (平日1日、9:00～16:00) 郵送及びWEB回収 |
| 調査時期 | 令和6年12月23日(月)～令和7年1月8日(水) |
| 回収数 | 428票 ※1/15時点 |
| 回収率 | 21.4% ※1/15時点 |

2. 区民アンケート：速報集計

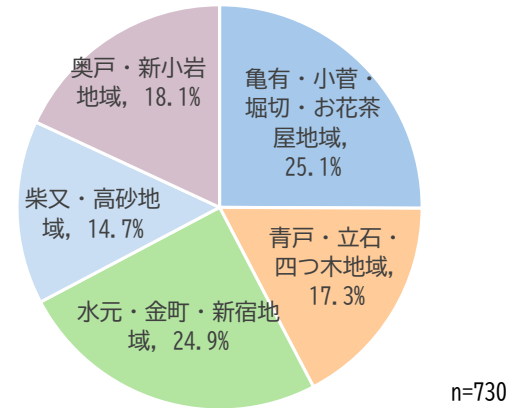
回答者の属性

- 男女比は同程度、若者から高齢者まで幅広い年齢層の回答があり、年齢別人口構成と同じ傾向です。
- 区内の各地区からの回答があり、地区別人口構成と同じ傾向です。
- 「日常的に運転していない」「運転免許を持っていない」を合わせると約7割を占めています。

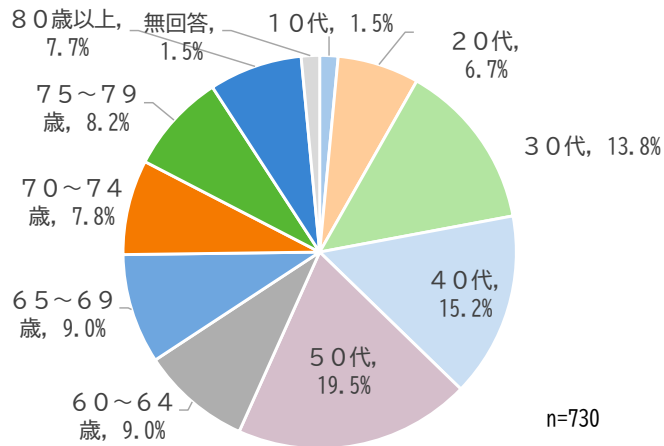
■性別



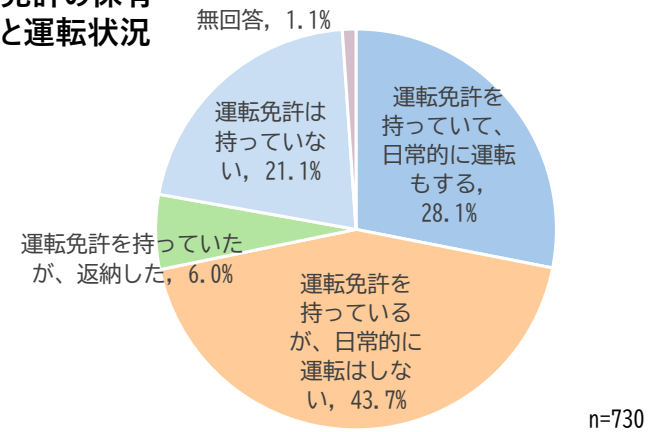
■居住地



■年齢



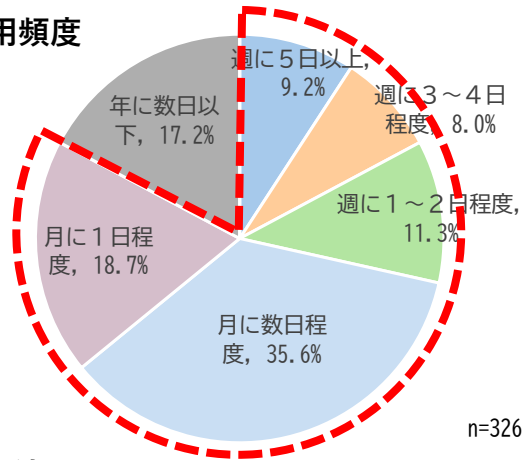
■運転免許の保有有無と運転状況



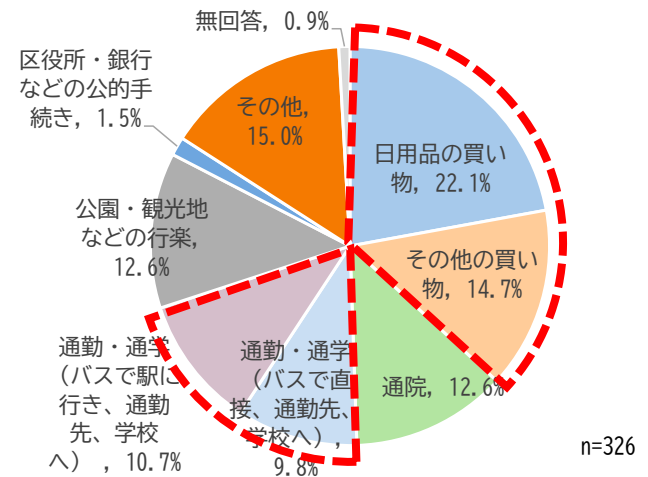
公共交通（バス）の利用について

- 回答者の約45%がバスを利用しており、うち8割以上が月1日以上、約3割が週1日以上利用しています。
- バス利用の目的は、「買い物」「通勤・通学」が多く、「通院」「行楽」「その他」も見られます。
- 支払方法は、「ICカード」が8割、シルバーパスが約15%（70歳以上の4割が保有）です。

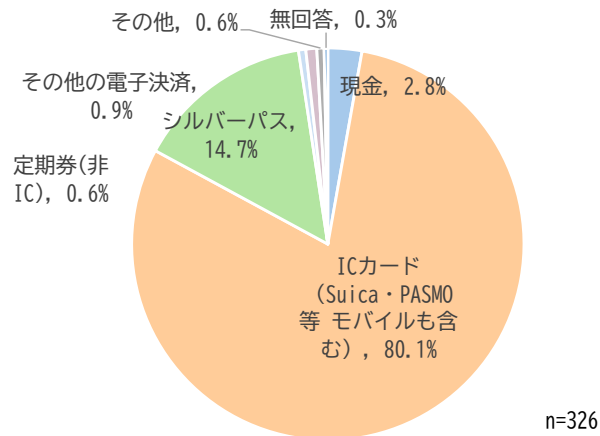
■バスの利用頻度



■バス利用目的



■運賃支払方法



利用目的（その他）の主な具体内容

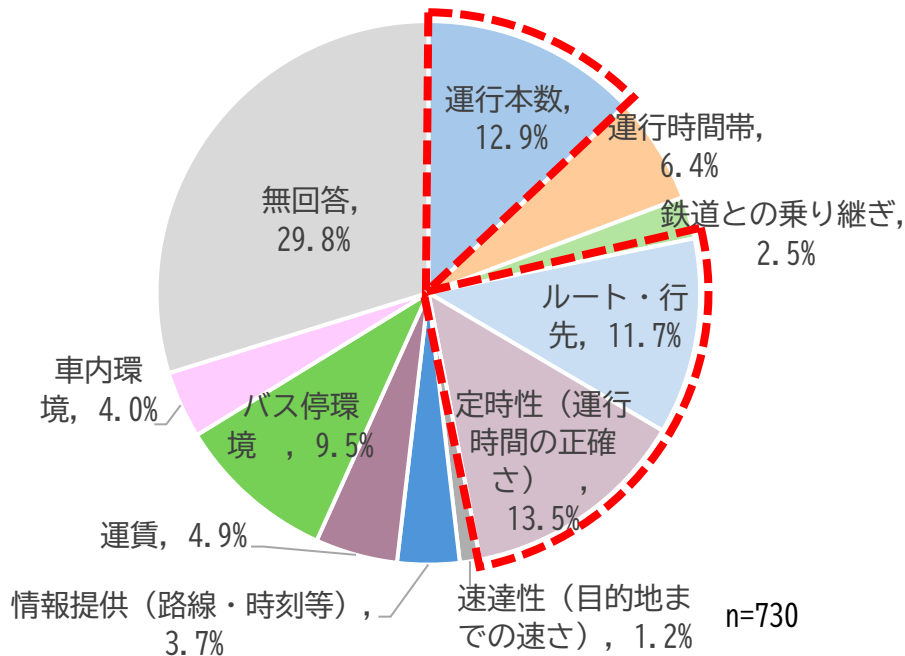
- 天候条件（雨の日や気温など）
- 鉄道駅への移動手段として
- 飲酒を伴う外食
- 習い事や集会活動、交友
- 実家への帰省

2. 区民アンケート：速報集計

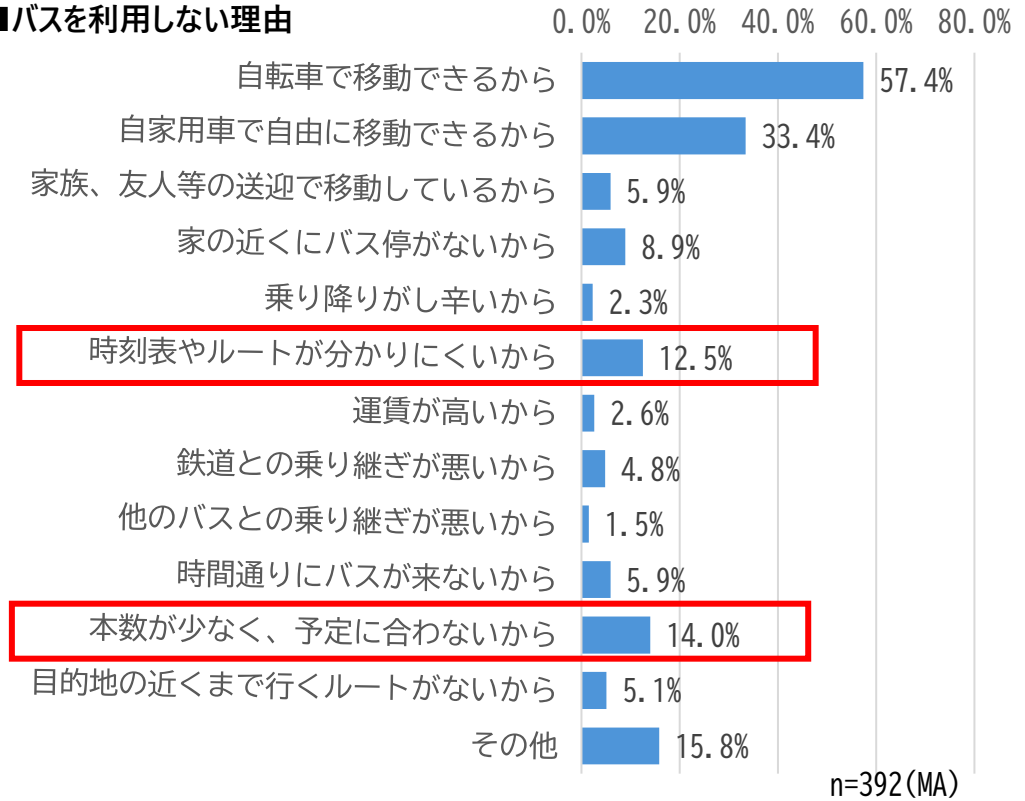
公共交通（バス）の利用について

- バス利用者の満足度が低い項目としては、「定時性」「運行本数」「ルート・行先」となっています。
- 回答者の約54%がバスを利用しておらず、その理由として、自転車・自家用車で移動できるを除くと、「時刻表やルートが分かりにくい」「本数が少なく、予定に合わない」が比較的多いです。

■利用満足度が低い項目



■バスを利用しない理由

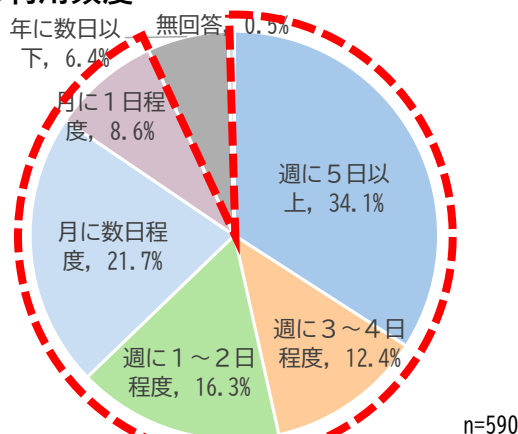


2. 区民アンケート：速報集計

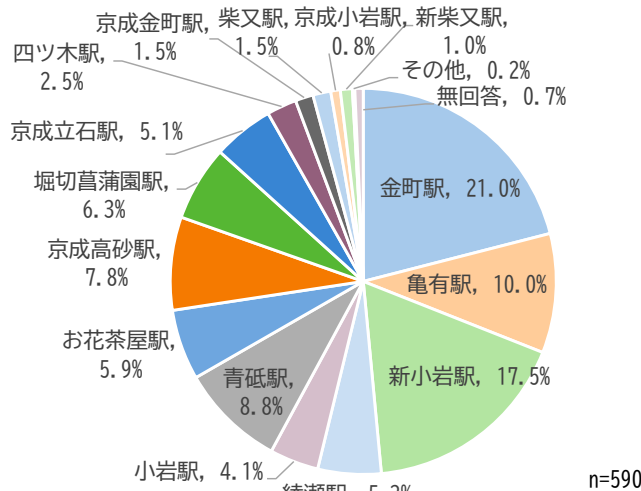
公共交通（鉄道）の利用について

- 回答者の81%が鉄道を利用し、うち9割が月1日以上、約3割が週5日以上利用しています。
- 乗車駅は金町駅・新小岩駅・亀有駅・青砥駅の順に多く、駅までの移動手段は徒歩・自転車・バスの順です。
- 利用目的は通勤・通学が約5割と多いですが、買い物や行楽、通院などにも利用されています。

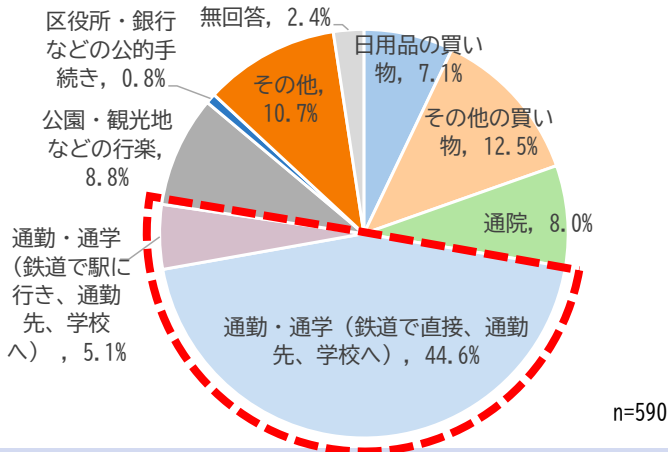
■鉄道の利用頻度



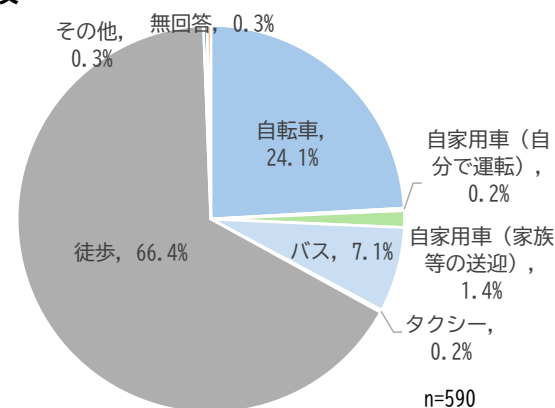
■乗車駅



■鉄道の利用目的



■鉄道駅までの移動手段

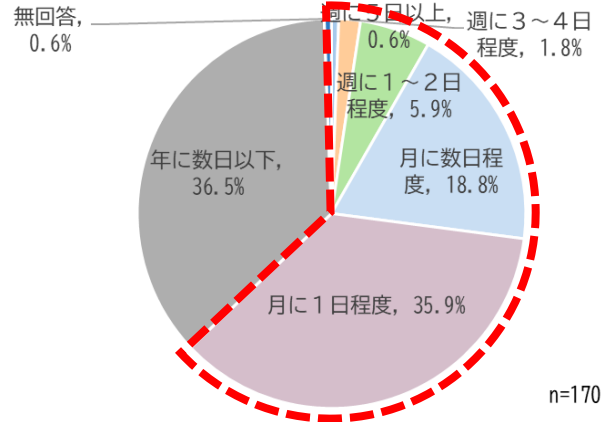


2. 区民アンケート：速報集計

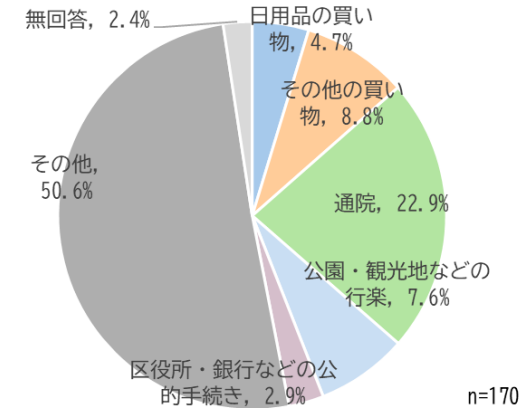
公共交通（タクシー）の利用について

- 回答者の23%がタクシーを利用し、うち約63%が月1日以上、約8%が週1日以上利用しています。
- タクシー利用の目的は、「その他」が約51%、「通院」が約23%で多くなっています。
- 利用方法は、「駅前等のタクシー乗り場」「配車アプリ」が約41%です。

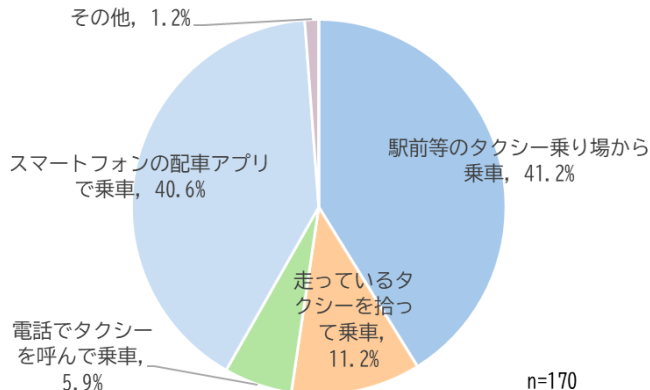
■タクシーの利用頻度



■タクシーの利用目的



■タクシーの利用方法



利用目的（その他）の主な具体内容

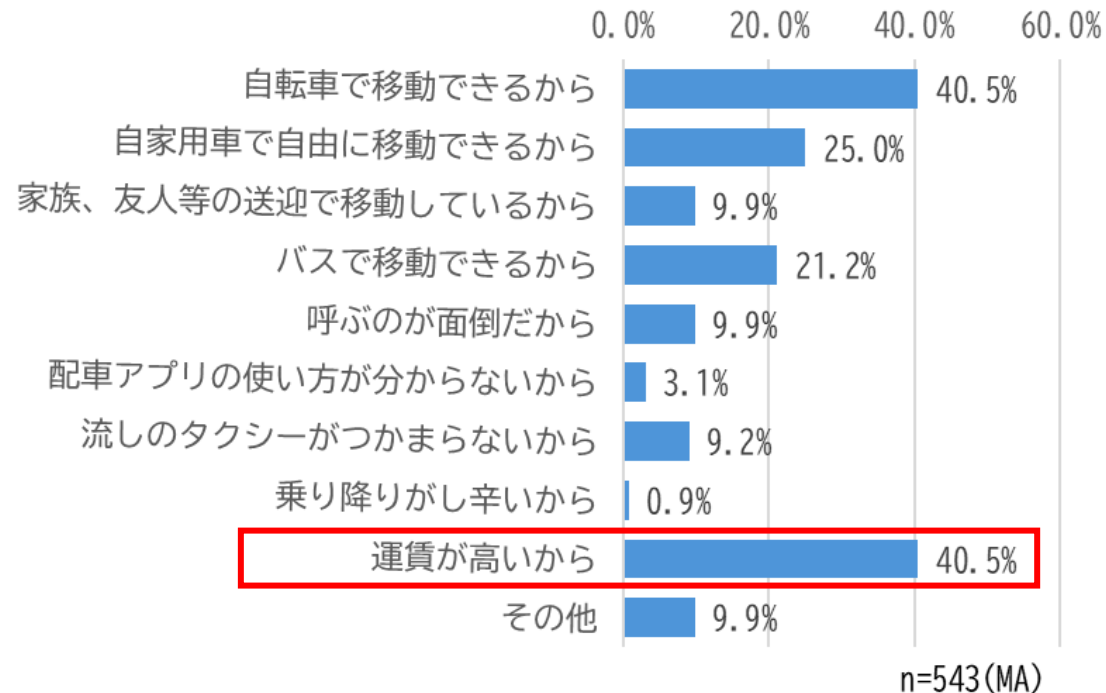
- 天候条件（雨の日や気温など）
- 飲酒を伴う外食
- 墓参り
- バスや鉄道を逃した時
- 鉄道駅までの移動

2. 区民アンケート：速報集計

公共交通（タクシー）の利用について

- 回答者の約74%がタクシーを利用しておらず、その理由として、自転車・自家用車・バスで移動できるを除くと、「運賃が高い」が多いです。

■タクシーを利用しない理由

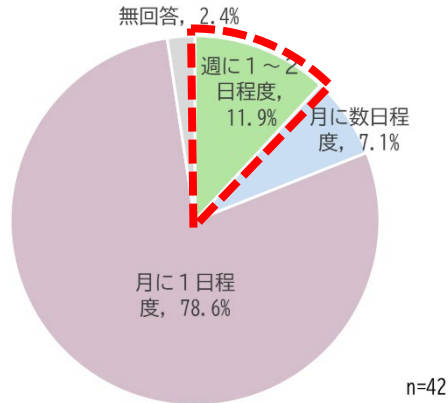


2. 区民アンケート：速報集計

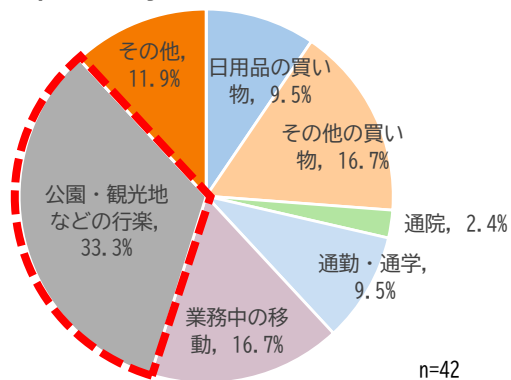
シェアサイクルの利用について

- 回答者の6%がシェアサイクルを利用し、うち約12%が週に1日以上利用しています。
- シェアサイクル利用の目的は、「公園・観光地などの行楽」が約33%で多くなっています。
- 回答者の約92%がシェアサイクルを利用しておらず、その理由として、自転車・自家用車で移動できるを除くと、「利用方法がわからないから」が多いです。

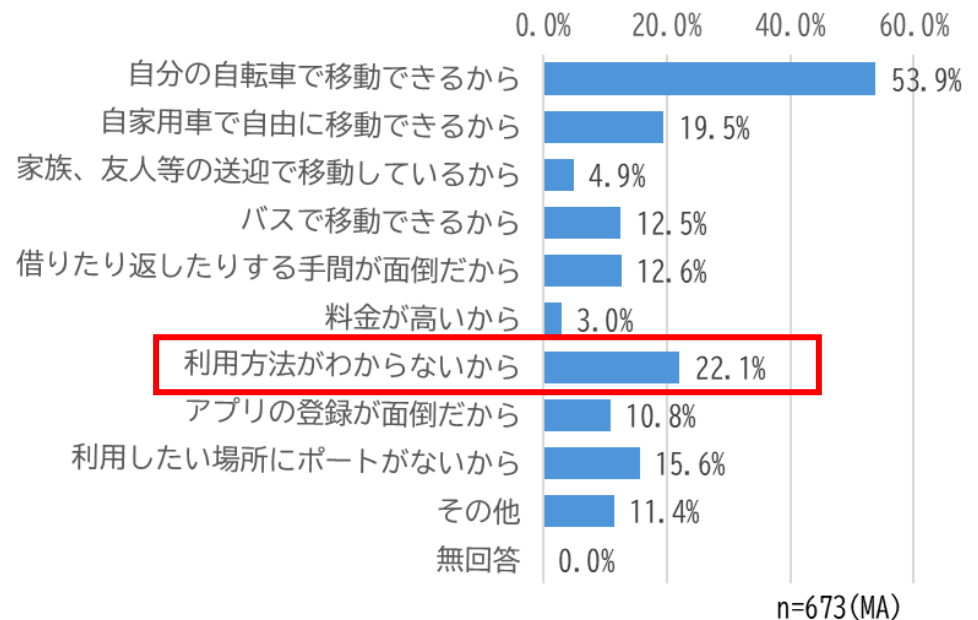
■シェアサイクルの利用頻度



■シェアサイクルの利用目的



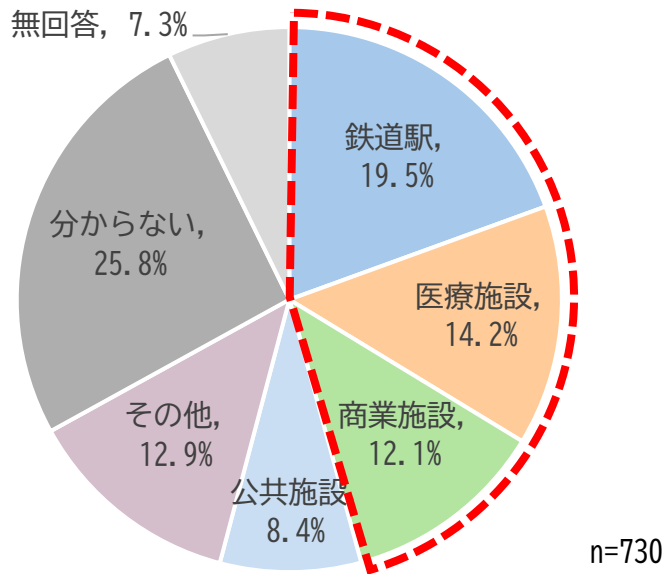
■シェアサイクルを利用しない理由



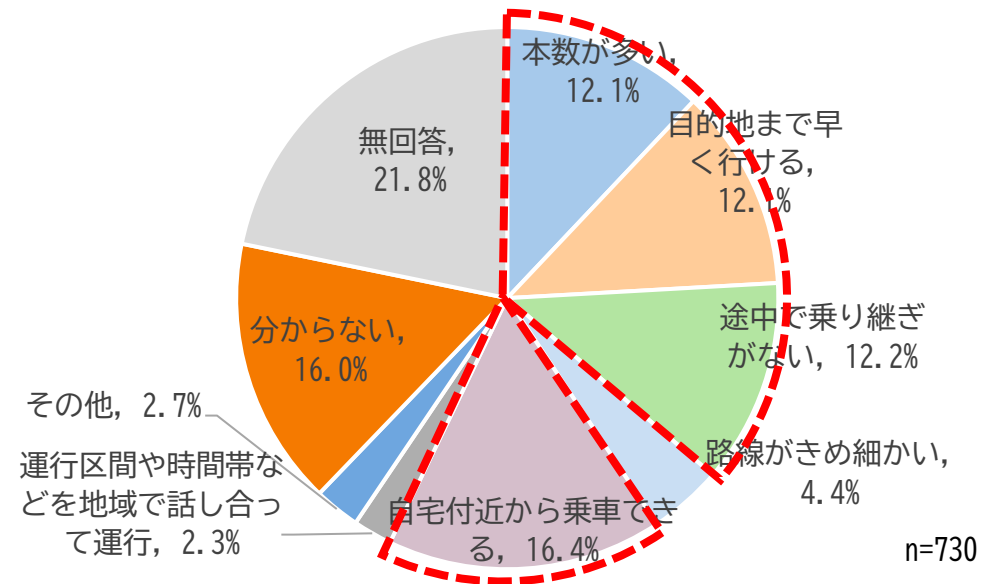
今後の公共交通施策について

- 公共交通アクセスの強化が必要な個所としては、鉄道駅、医療施設、商業施設の順に多くなっています。
- それらの施設へアクセスする公共交通が利用しやすくなる要素として、「自宅付近から乗車できる」が最も多く、次いで、「乗り継ぎがない」「本数が多い」「早く行ける」となっています。

■公共交通アクセスの強化が必要な個所



■アクセス強化が必要な個所への公共交通を利用しやすくなる要素

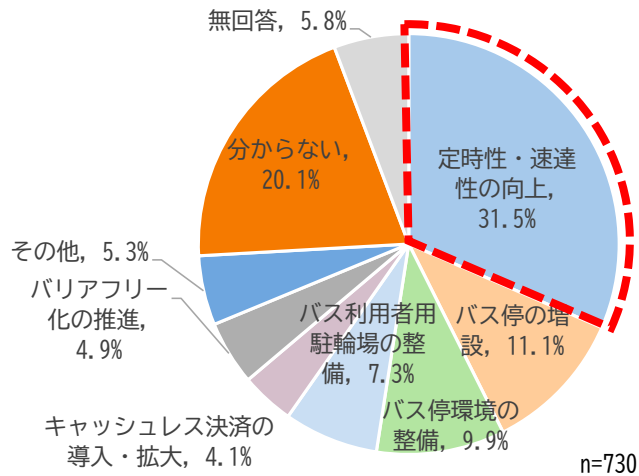


2. 区民アンケート：速報集計

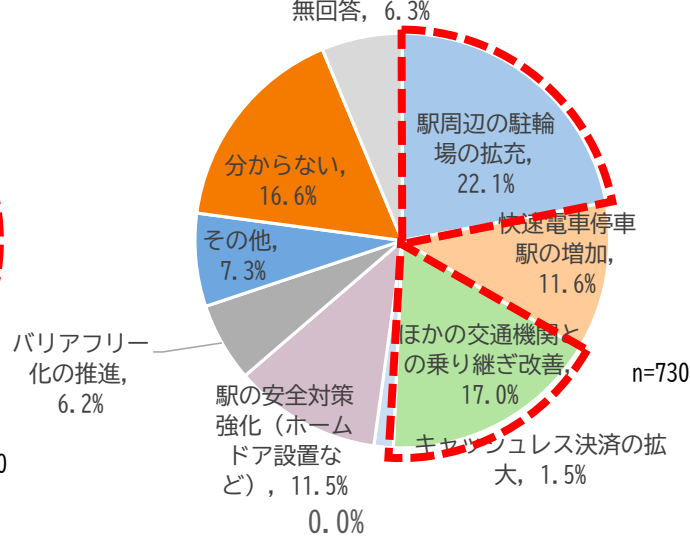
今後の公共交通施策について

- 交通手段ごとの利便性・快適性の向上策としては、バスは「定時性・速達性」、鉄道は「駅周辺の駐輪場」「乗り継ぎ改善」、タクシーは「変動料金制」「配車アプリの機能拡充」などの意見が比較的多いです。
- 「循環バス導入検討」「情報提供」「運転手不足に対する支援」へのより積極的な取り組みが求められています。

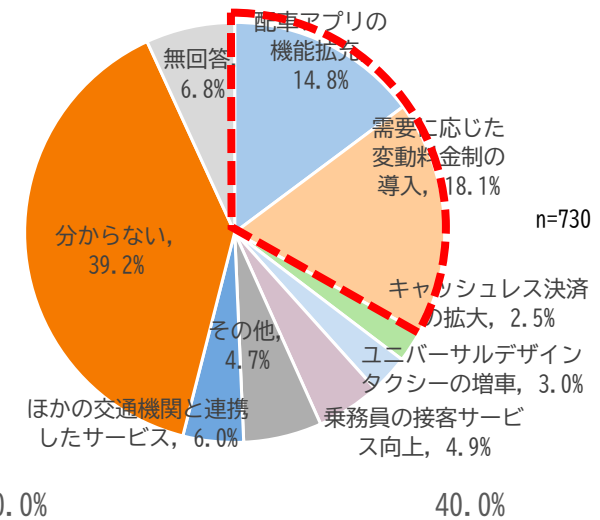
■バスの利便性・快適性向上策



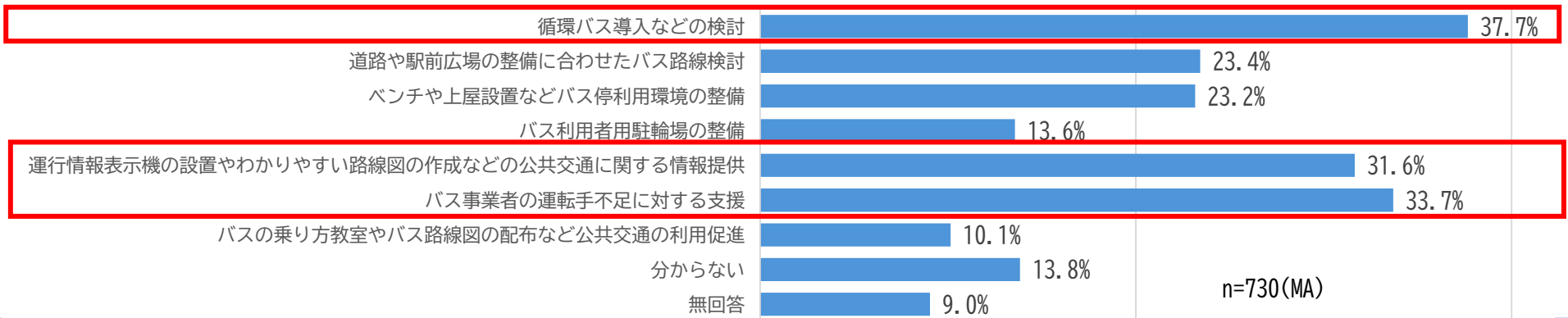
■鉄道の利便性・快適性向上策



■タクシーの利便性・快適性向上策



■これまで以上に推進すべき取り組み

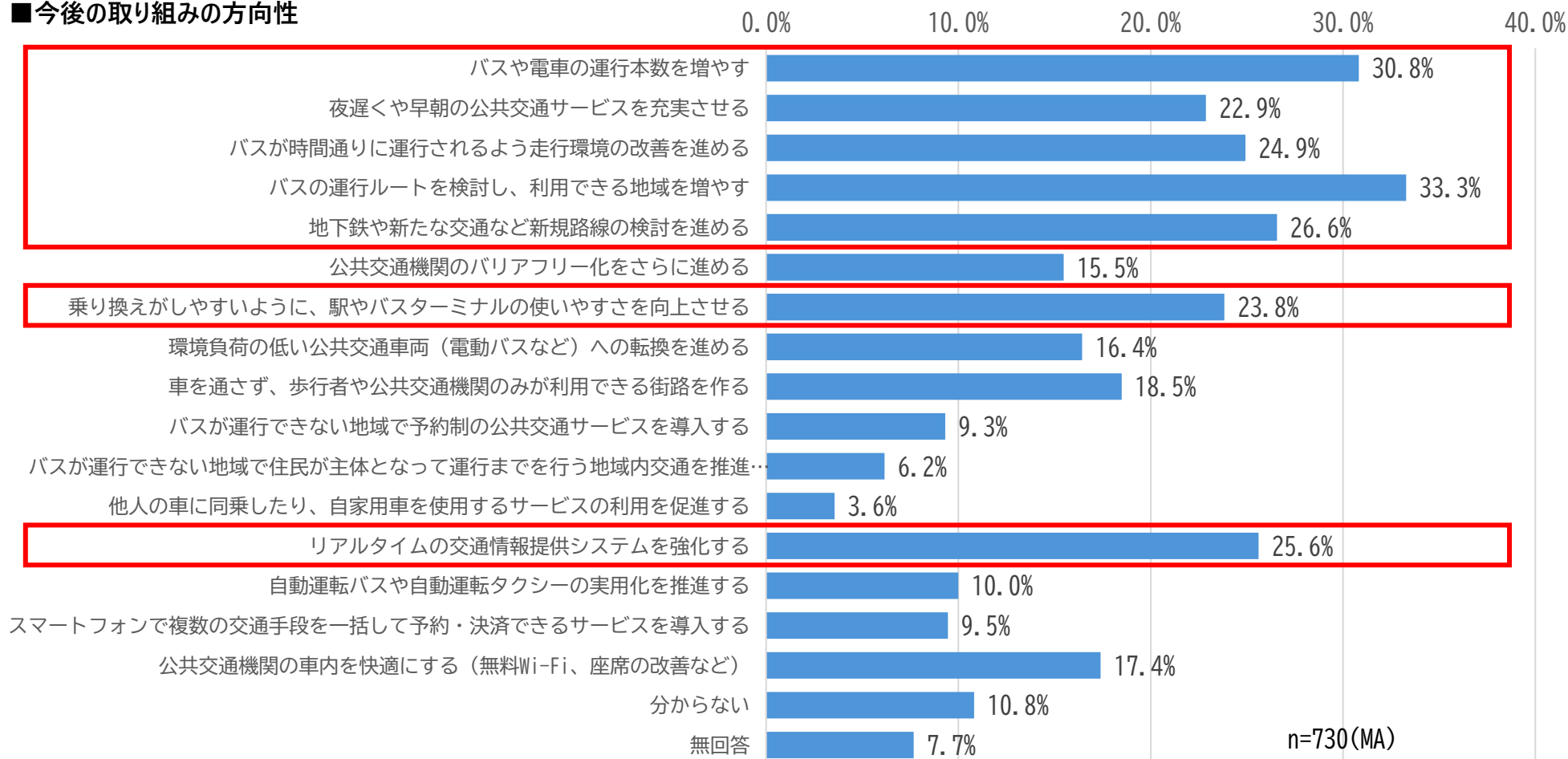


2. 区民アンケート：速報集計

今後の公共交通施策について

- 今後の取組の方向性としては、「運行ルート」「運行本数」「新規路線」「定時性」「運行時間帯」などのサービスに関する意見や、「駅・バスターミナルの使いやすさ」「リアルタイム情報提供」といった利用環境に関する意見が多く挙げられています。

■今後の取り組みの方向性

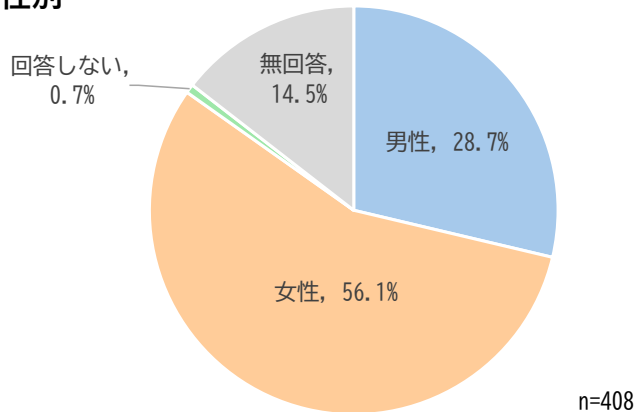


3. バス利用者アンケート：速報集計

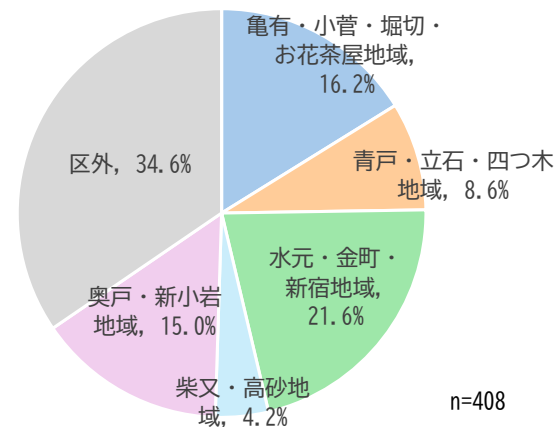
回答者の属性

- 速報集計では9-16時の調査結果ということもあり、高齢女性の回答が比較的多い傾向です。
- 区外居住者が約35%と最も多く、区内は地区別人口構成と比べて「青戸等」「柴又等」の割合が低いです。
- 「日常的に運転していない」「運転免許を持っていない」を合わせると約85%を占めています。

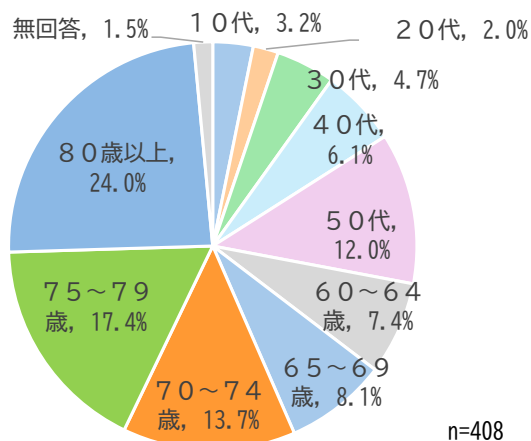
■性別



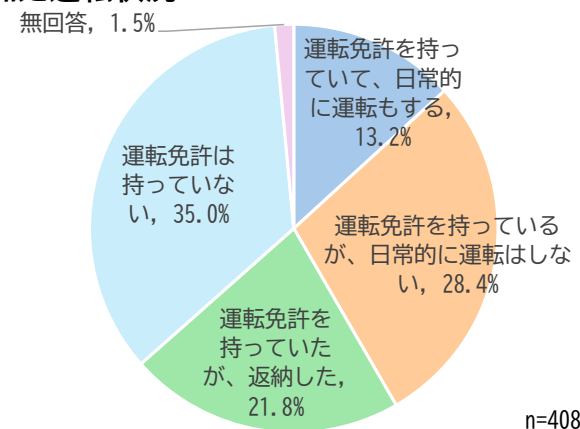
■居住地



■年齢



■運転免許の保有有無と運転状況

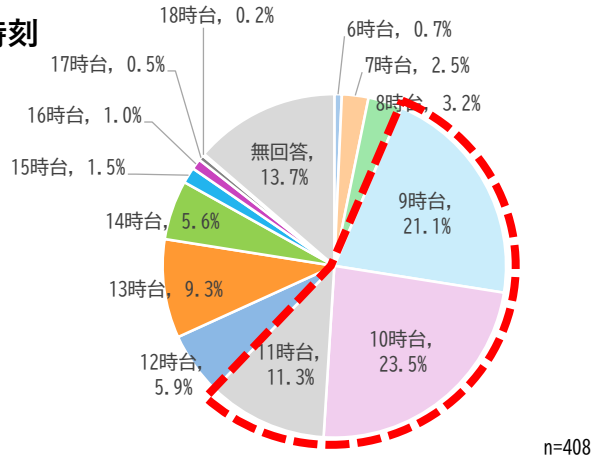


3. バス利用者アンケート：速報集計

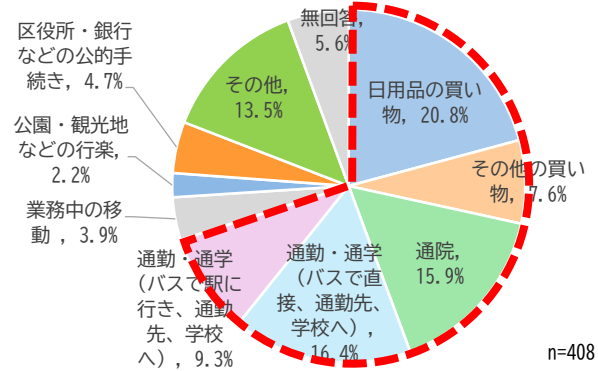
当日のバス利用について

- 9～11時台の乗車が多く、約56%を占めています。
- 利用目的は、「買い物」が3割弱、「通勤・通学」が約26%、「通院」が約16%です。
- 約5割が乗り継ぎをしておらず、2割強がバスから鉄道へ、2割弱がバス同士の乗り継ぎをしています。

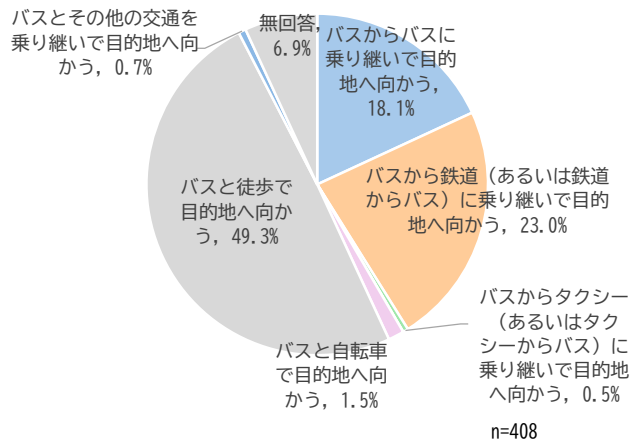
■バスの乗車時刻



■バス利用目的



■他の公共交通との乗り継ぎ利用



バスの利用目的 (その他) の主な具体内容

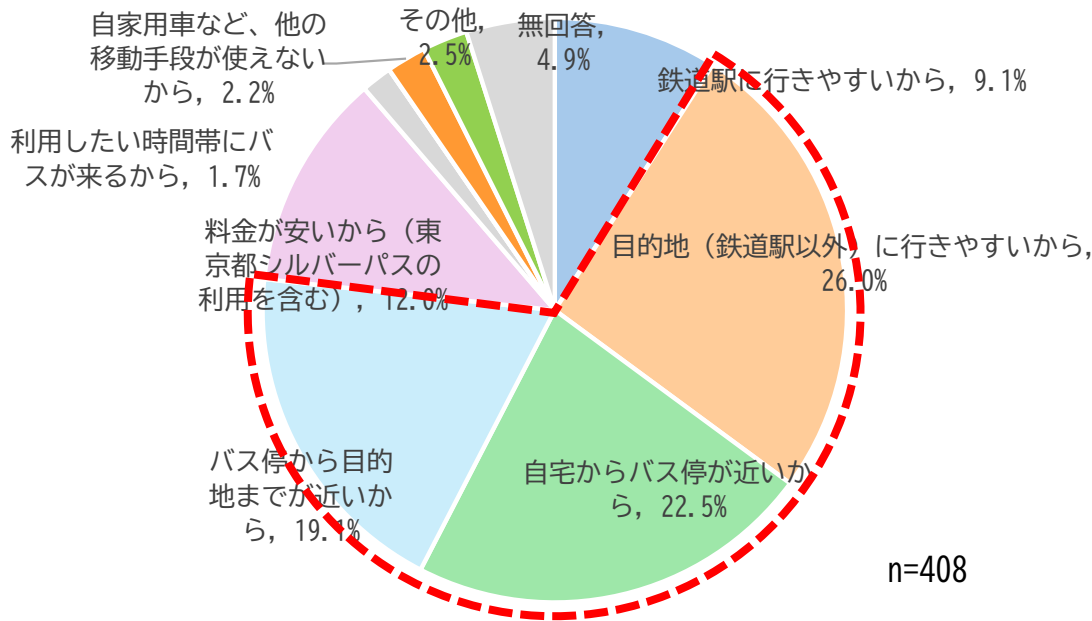
- 習い事や集会活動、交友
- 健康維持のための外出
- スポーツジムや体操、ヨガ教室等
- 家族や親戚との食事

3. バス利用者アンケート：速報集計

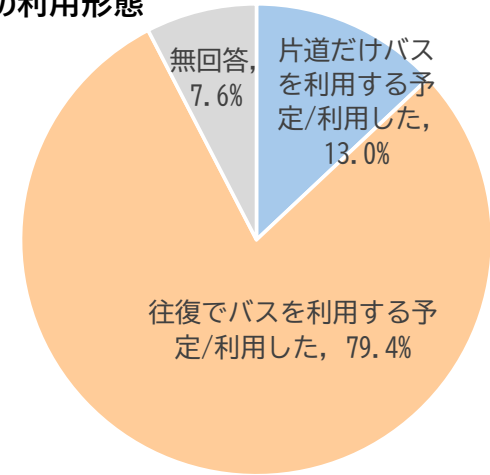
当日のバス利用について

- バスを利用した理由は、「目的地へ行きやすい」「自宅からバス停が近い」「バス停から目的地まで近い」が多いです。
- 約 8 割が往復利用であり、片道利用は 13% です。
- 往復利用しない理由としては、「鉄道を利用する」「乗りたい時間の便がない」という意見が多いです。

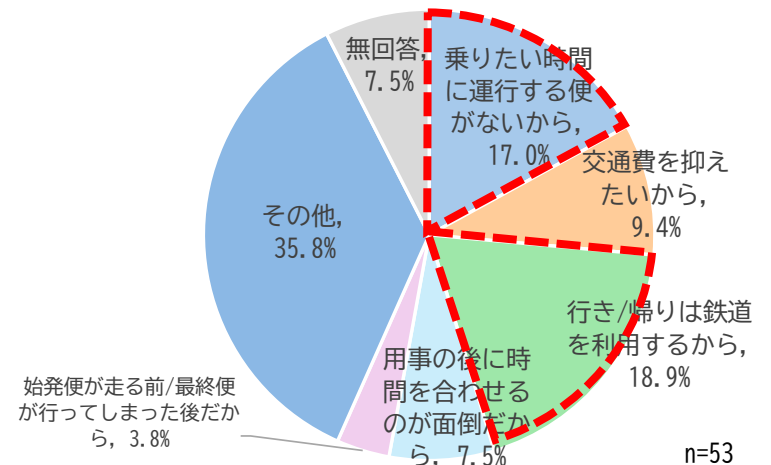
■バスを利用した理由



■バスの利用形態



■往復でバスを利用しない理由

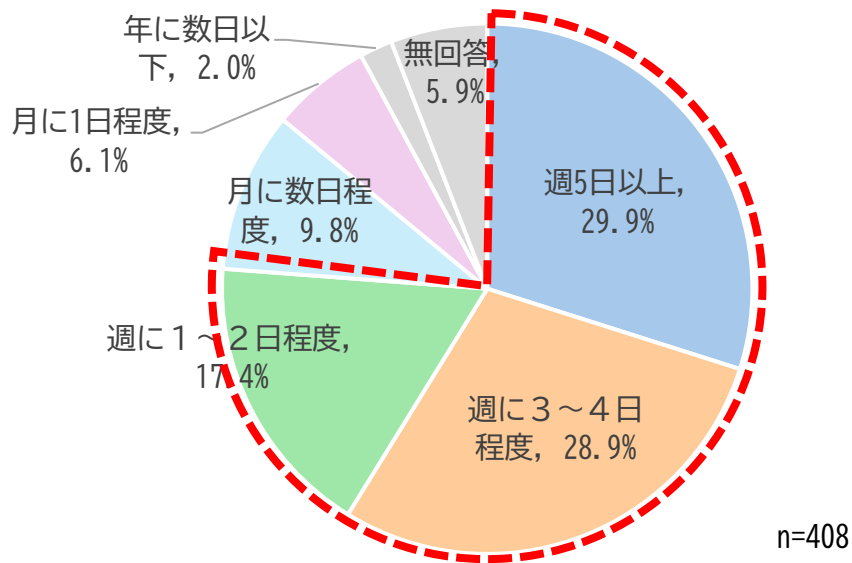


3. バス利用者アンケート：速報集計

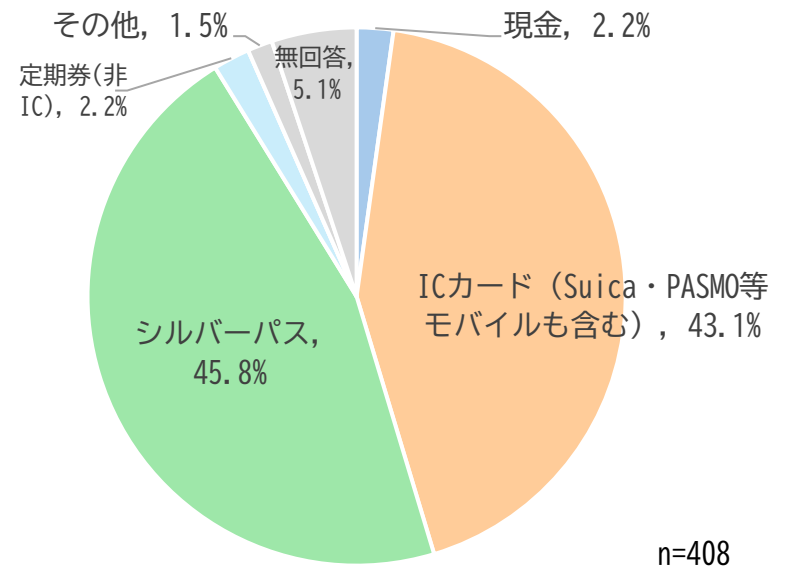
普段のバス利用について

- 「週5日以上」と「週3～4日」がそれぞれ約3割、「週1～2日」が約17%で、週1日以上の利用を合わせると約76%を占めています。
- 運賃の支払い方法は、シルバーパスとICカードの利用が多いです。現金は2.2%と非常に少ないです。

■バスの利用頻度



■運賃の支払い方法

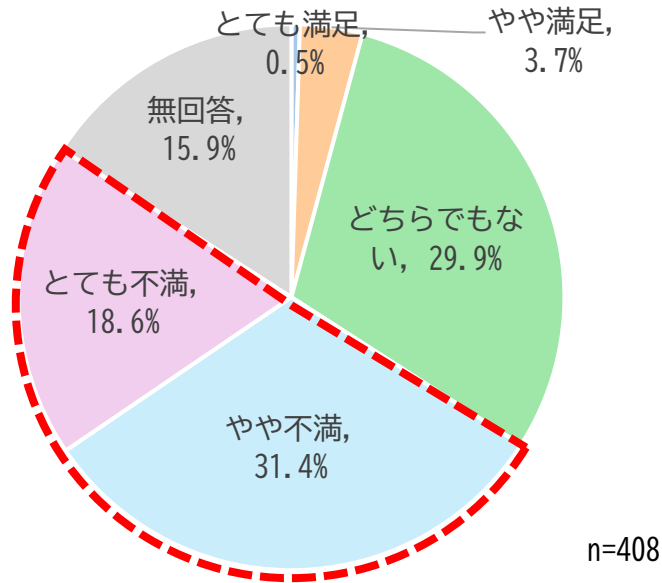


3. バス利用者アンケート：速報集計

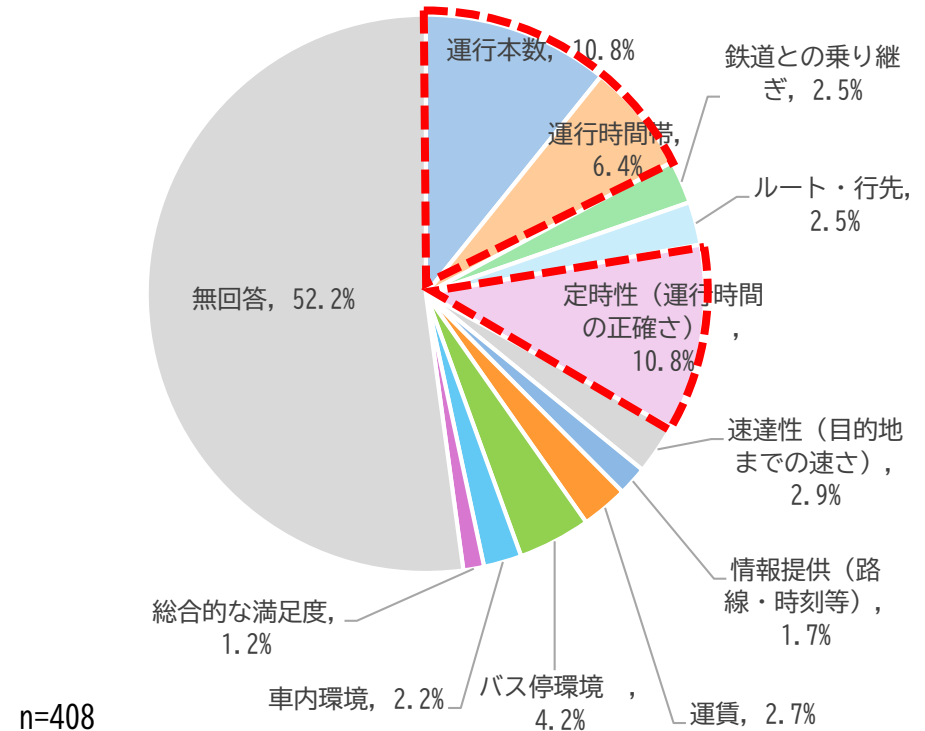
現在のバスの満足度について

- 5割が不満という評価であり、満足は1割未満と少ないです。
- 満足度が低い項目としては、運行本数、定時性、運行時間帯です。

■バスの総合的な満足度



■最も満足度が低い項目

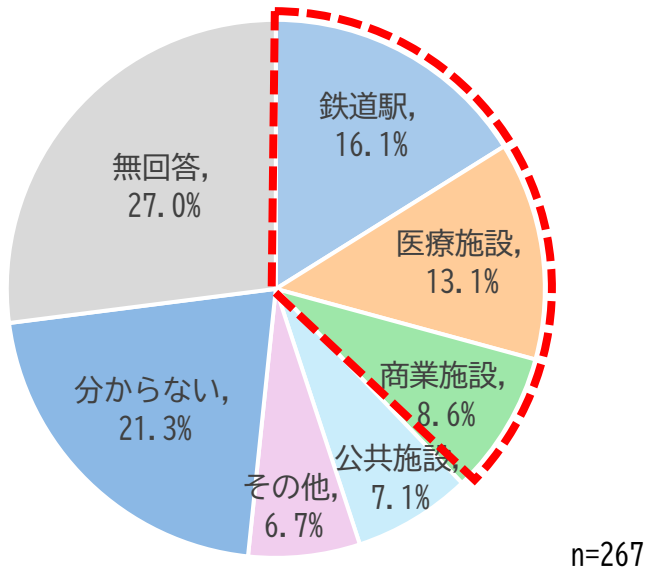


3. バス利用者アンケート：速報集計

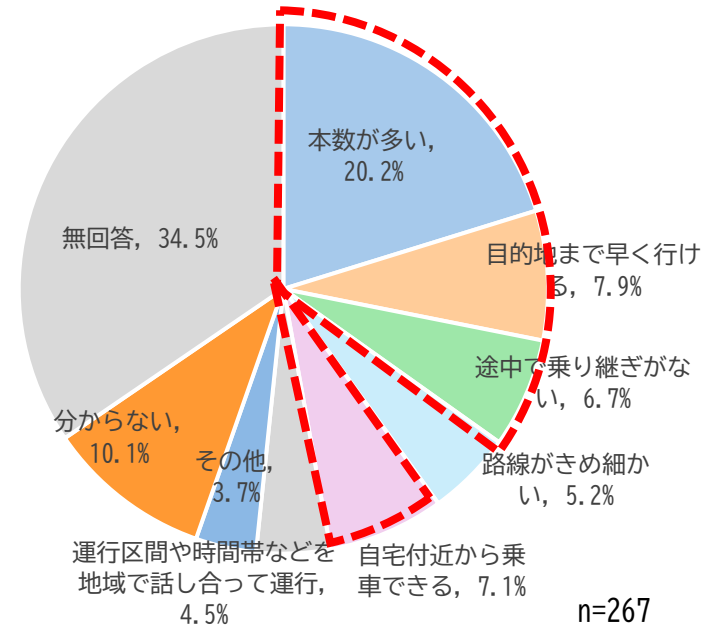
今後の公共交通施策について

- 公共交通アクセスの強化が必要な個所としては、鉄道駅、医療施設、商業施設の順に多くなっています。
※区民アンケートと同様の傾向ですが、無回答が多くなっています。
- それらの施設へアクセスする公共交通が利用しやすくなる要素として、「本数が多い」が2割と最も多く、次いで、「早く行ける」「自宅付近から乗車できる」「乗り継ぎがない」となっています。
※区民アンケートでは、「自宅付近から乗車できる」が最も多く、利用者・非利用者の傾向の違いと考えられます。

■公共交通アクセスの強化が必要な個所



■アクセス強化が必要な個所への公共交通を利用しやすくする要素

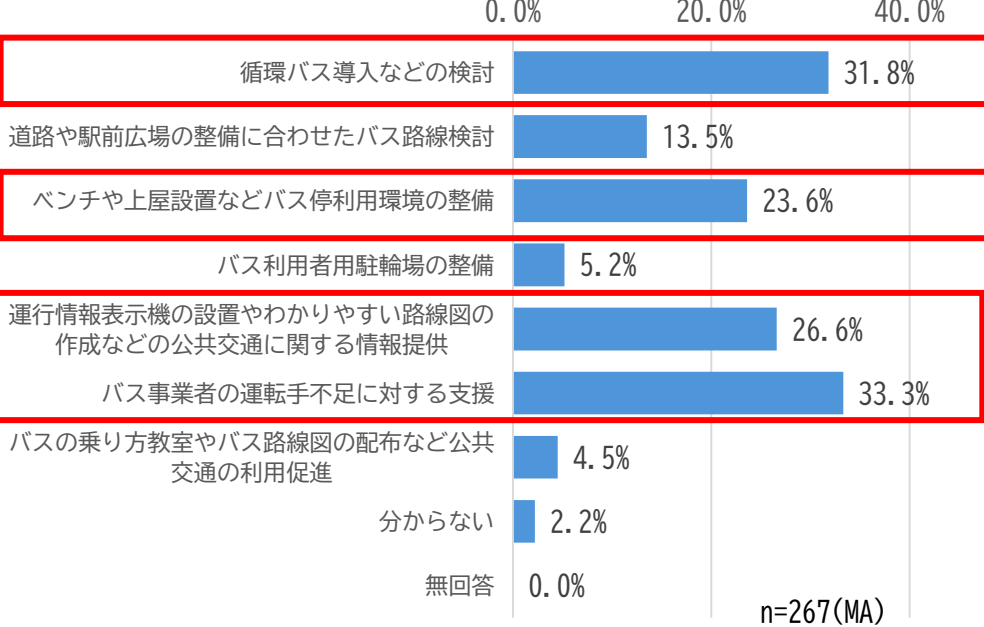


3. バス利用者アンケート：速報集計

今後の公共交通施策について

- 「運転手不足に対する支援」「循環バス導入などの検討」「情報提供」「バス停利用環境の整備」へのより積極的な取り組みが求められています。
- 今後の取組の方向性としては、「定時性」「運行ルート」「運行本数」などのサービスに関する意見や、「リアルタイム情報提供」「バリアフリー化」「駅・バスターミナルの使いやすさ」といった利用環境に関する意見が多く挙げられています。

■これまで以上に推進すべき取り組み



■今後の取り組みの方向性

